

## 研究協力のお願

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

整形外科入院患者（腰椎・頸椎領域）における周術期栄養管理介入の有用性に関する検討
<b>1. 研究の対象および研究対象期間</b> 2024年1月1日から10月31日と2025年1月1日から10月31日に昭和医科大学横浜市北部病院整形外科で腰椎・頸椎領域の手術を行なった患者さん
<b>2. 研究目的・方法</b> 【目的】術前から術後にかけて適切な栄養管理を実施することは、術後の早期回復を促進し、在院日数の短縮につながることから、令和4年診療報酬改訂において、「周術期栄養管理実施加算」が新設されました。当院では2025年1月より、腰椎・頸椎疾患の全身麻酔下での手術患者さんを対象に、管理栄養士による周術期栄養管理介入を導入しました。本研究では、栄養介入の有無による有用性を診療録情報から検討することを目的とします。 【方法】後方視的観察研究
<b>3. 研究期間</b> 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年4月1日まで
<b>4. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 【調査項目】 患者背景：性別、年齢、病名、既往歴、入院期間 手術関連：術式、手術時間 身体初見：身長、体重、BMI、下肢周囲長、入退院時BI 入退院時栄養スクリーニング：MNA-SF、COUNTスコア、PNI、GNRI 入退院時採血データ：Alb、TLC、CRP、Hb 臨床経過：術後食事摂取量、術後合併症、チーム医療介入有無、転帰
<b>5. 外部への試料・情報の提供</b> 該当いたしません。
<b>6. 研究組織</b> 研究責任者：昭和医科大学横浜市北部病院栄養科 小原 奈々

## 7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院栄養科 氏名：小原奈々

住所：神奈川県横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：080-6548-6546